

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
選択科目	2単位 資格関連	TOEFL 対策	小林俊哉	2年次	秋

授業のキーワード	TOEFL 受験 実践練習
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	米国やカナダの大学留学などには必須の TOEFL。様々な形態の練習問題を解くことにより、スコアアップを目指します。また、英語総合基礎力の高いレベルでのアップも狙います。
履修のアドバイス・ 前提科目等	テスト形式（特に CBT-Computer Based Testing）の形式に習熟すると共に、リスニング、ストラクチャ、リーディング、ライティングの各形式の問題に数多くふれてください。テスト受験を考えていなくても、英語力アップのために受講をお薦めします。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	イントロダクション	TOEFL の概要や形式について学びます。	第9講	リーディング	学術的な内容を持つ英文の講読練習をします。
第2講	リスニング	図を使う四択問題の練習をします。	第10講	リーディング	長文を読んだあと、四択問題の解答をするための練習をします。
第3講	リスニング	解答の選択肢から、正解を二つ選ぶ問題の練習をします。	第11講	リーディング	長文を読んだあと、語句選択に関連する練習をします。小試験を行います。
第4講	リスニング	複数の選択肢をそれぞれ適当な項目に当てはめる設問のうち、照合問題をおこないます。	第12講	ライティング	一定の長さを持つ英文ライティングの基本を学びます。
第5講	リスニング	4講に引き続き、並べ替え問題をおこないます。小試験をおこないます。	第13講	ライティング	自分の見解を明示するライティングのスキルを学びます。
第6講	ストラクチャ	4つの選択肢から解答を選ぶ、空欄補充問題の練習をします。	第14講	ライティング	序論、本論、結論という議論の組み立て方を学びます。
第7講	ストラクチャ	4つの選択肢から解答を選ぶ、誤所選択問題をします。	第15講	試験	
第8講	ストラクチャ	空欄補充、誤所選択の問題を継続します。小試験を行います。	評価方法		小試験 40% 期末試験 60%
備考 (関連する資格・試験等)		TOEFL 試験は大学、大学院の一般的な入学基準から見た場合、大学学部入学で CBT スコア 213 点 (PBT スコア 550 点)、大学院入学で CBT スコア 280 点 (PBT スコア 650 点) 以上が安全圏といわれています。受講生の皆さんには、TOEFL スコアの平均点の (日本 2001~2002 年のデータ) CBT スコア 183 点、PBT スコア 505 点を目指してもらいます。			
使用する教科書 (必ず購入してください)			参考文献		